

## 令和7年度 2学期 始業式が催されました〈前編〉

9月1日（月）始業式が催されました。折しも若者の自殺が最も多いとされるこの日、心配をよそに376名の生徒たちと久しぶりの対面となりました。

数字で見ても出席率は95%。昨年度と比較して2%の向上が見られ、着実に生徒たちの成長を感じさせます。



大崎校長先生のご挨拶では、この夏季休業中、大きな事故もなく過ごせたことへの安堵、さらに多方面で活躍を果たした生徒たちの紹介とねぎらいにはじまり、1年生は、高校生活にも慣れ、文理選択に向けて取り組むこと。2年生には、沖縄修学旅行に向けた準備。3年生には、いよいよ進路実現の取り組むこと。今学期それぞれの指針を示され、優勝、優秀といった結果はもちろん素晴らしいことですが、そこにたどり着くまでの過程の重要性と「外」に目を向け、チャレンジしていくことの大切さを説かれていらっしゃいました。



続く生徒発表では、2 学年代表者が、この夏体験した、大阪万博、大学のオープンキャンパスへの参加、最後に子どもたちと関わった学童ボランティアでの体験が語られ、自身の進路や将来を切り開く決意表明が述べられました。

次に3 学年代表者によるプレゼンテーションが披露されました。こちらは都内で開催された「サイエンスキャンプ2025」の研究課題である、飛行機をどれだけ速く飛ばせるか、どれだけ重りを運べるか、スピードとウェイトを競うものです。2 人は今大会で最優秀賞を受賞しました。



